

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
春野	22	輸出できる作物を増やす	R5.3.31
春野	22	春野外の人も農業できる	R5.3.31
春野	22	個人で売る直売	R5.3.31
春野	22	急須を知らない子供	R5.3.31
春野	22	販売と農業のバランス	R5.3.31
春野	22	仲間で	R5.3.31
春野	22	コストを価格転嫁するのは難しい	R5.3.31
春野	22	茶葉はごみ処理の手間がかかるためティーパックや粉末茶	R5.3.31
春野	22	新しい作物	R5.3.31
春野	22	元気が出ない	R5.3.31
春野	22	空き家問題	R5.3.31
春野	22	農業者を増やしたい	R5.3.31
春野	22	市場	R5.3.31
春野	22	機械化	R5.3.31
春野	22	コスト→価格×	R5.3.31
春野	22	認証制度	R5.3.31
春野	22	GAP	R5.3.31
春野	22	情報発信が必要	R5.3.31
春野	22	農家＝個人では厳しい	R5.3.31
春野	22	山間地	R5.3.31
春野	22	優良な農地の確保	R5.3.31
春野	22	鳥獣害が耕作放棄地に	R5.3.31
春野	22	農地集積	R5.3.31
春野	22	中核農家	R5.3.31
春野	22	自給畑	R5.3.31
春野	22	耕作されない茶園	R5.3.31
春野	22	急傾斜にある畑	R5.3.31
春野	22	輸出	R5.3.31
春野	22	生産技術の見直し	R5.3.31
春野	22	経費高	R5.3.31
春野	22	春野耕作隊	R5.3.31
春野	22	特区	R5.3.31
春野	22	後継者不足	R5.3.31
春野	22	農業の公務員制	R5.3.31
春野	22	鳥獣害対策	R5.3.31
春野	22	耕作放棄地が増えている	R5.3.31
春野	22	やる気になる対策	R5.3.31
春野	22	稼げる農家	R5.3.31
春野	22	ブランディング	R5.3.31
春野	22	農業者を増やす(各種条件が思わしくなく後継者が育ちにくい)	R5.3.31
春野	22	地域を離れる人が多くなり土地が荒れている	R5.3.31
春野	22	後継者不足＝農地の荒れ	R5.3.31
春野	22	不利な農地が多い(傾斜、狭い、機械が入らない)	R5.3.31
春野	22	農作物の単価が低い(価格決定ができづらい)	R5.3.31

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
春野	22	消費地から遠い	R5.3.31
春野	22	離村者が多い	R5.3.31
春野	22	今春野で行動している例でいうと春野耕作隊のような若い人達の力が必要かと思ひます	R5.3.31
春野	22	耕作放棄地など荒れた土地が多くなりつつある中で耕作隊のようなグループがもって来たらいいと思ひます。	R5.3.31
春野	22	耕作放棄地の問題	R5.3.31
春野	22	鳥獣害対策と補助	R5.3.31
春野	22	後継者不足、いい技術設備があつても後継ぎがないためそれらが途絶えてしまう	R5.3.31
春野	22	中山間地(春野の奥の方)では地域コミュニティの維持が難しい	R5.3.31
春野	22	特別作物(農産物の性質、技術の囲い込みに矛盾)	R5.3.31
春野	22	地主制度復活→新しい地主制度(公のものとしての農地、中山間地では特に)	R5.3.31
春野	22	特区を設けて	R5.3.31
春野	22	ドローンの活用	R5.3.31
春野	22	農地の集積	R5.3.31
春野	22	鳥獣害対策	R5.3.31
春野	22	作物を海外へ輸出するために認証制度の取得	R5.3.31
春野	22	後継者をつくること	R5.3.31
春野	22	農業者をつくる	R5.3.31
春野	22	耕作放棄地が増えている	R5.3.31
春野	22	鳥獣被害	R5.3.31
春野	22	儲かる農業の創成	R5.3.31
春野	22	若い人の力	R5.3.31
春野	22	農地集積	R5.3.31
春野	22	ドローンの活用	R5.3.31
春野	22	お茶栽培技術の再確認	R5.3.31
春野	22	有機茶生産を目指す、面積増やす	R5.3.31
春野	22	集積しやすい農地、造成して新規就農者等へ、経営の中核となる農地	R5.3.31
春野	22	急傾斜、小面積、移住者の自給用、しいたけの原木化	R5.3.31
春野	22	すでに山林化している農地は非農地へ	R5.3.31
春野	22	イノシシ、シカ、サルの駆除、特にシカ	R5.3.31
春野	22	罨の免許の簡素化(イノシシ、シカに特化)	R5.3.31
春野	22	機械化可能な農地、経営の中核化	R5.3.31
春野	22	農地利用の話になかなかならない	R5.3.31
春野	22	鳥獣害が多すぎる	R5.3.31
春野	22	茶栽培の為急傾斜地が多い(機械が入らない)	R5.3.31
春野	22	農地(荒地)の整理	R5.3.31
春野	22	新しい農業者を入れる(他の地区から)	R5.3.31
春野	22	利用可能な耕作放棄地を他の目的でも使えるようにする	R5.3.31
春野	22	耕作のされない茶園が増えてきて困る	R5.3.31
春野	22	耕作されていない農地が転作できる作目が見つかるといいと思う(輸出までできる作目)	R5.3.31
春野	22	有機茶を増やす	R5.3.31
春野	22	急斜面が多い	R5.3.31
春野	22	規模拡大	R5.3.31
春野	22	地域コミュニティ難しい	R5.3.31
春野	22	特区を設ける	R5.3.31

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
春野	22	地域ごとに農地の話し合い	R5.3.31
春野	22	耕作放棄地の解消	R5.3.31
春野	22	輸出のための認定	R5.3.31
春野	22	土地が荒れている	R5.3.31
春野	22	春野地域として確保すべき農地、将来的に特定の農業経営者の規模拡大につながるような地域を残す	R5.3.31
春野	22	農業後継者	R5.3.31
春野	22	農業耕作放棄地の他目的使用指針	R5.3.31
春野	22	経営(経済)が成り立つ	R5.3.31
春野	22	農業担い手の育成	R5.3.31
春野	22	儲かる農業の創成	R5.3.31
春野	22	耕作放棄地の解消	R5.3.31
春野	22	輸出作物、春野耕作隊の活性化	R5.3.31
春野	22	農業後継者(新しい農業者、新規参入)	R5.3.31
春野	22	放棄地(茶園)山林化している、傾斜地	R5.3.31
春野	22	鳥獣害対策、農地集積	R5.3.31
春野	22	規模拡大	R5.3.31
春野	22	輸出できるような作物の創成ができればもうかる。儲かる農業であれば後継者も生まれる	R5.3.31
春野	22	耕作が困難となった農地に「ついては、周辺の耕作者の話し合い等によって荒れることの無いようにできていますか	R5.3.31
春野	22	輸出、転作に向けた制度、後継者を外から招く、非農地化、営みの問題(グループ)、再整備	R5.3.31
春野	22	地域ごとの農地利用の方向性の話し合い	R5.3.31
春野	22	必要な農地の再整備	R5.3.31
春野	22	農家各々の経営計画の見直し	R5.3.31
春野	22	お茶生産技術の再確認	R5.3.31
春野	22	後継者、耕作放棄地他目的他作物、有機、鳥獣害、輸出	R5.3.31
春野	22	規模拡大、春野耕作隊、急傾斜、ドローン、特区、最低収入保障、茶園景観、販売ルート	R5.3.31
春野	22	産地PR(茶)	R4.3.31
春野	22	高齢化・担い手不足による耕作放棄茶園の増加	R4.3.31
春野	22	茶から他作物への転換	R4.3.31
春野	22	人農地プランの手順が示されておらず不安である。	R4.3.31
春野	22	春野地区は山間地であり、農地面積も少なく急傾斜等農地の集積等進めていくことは難しい点が多い。	R4.3.31
春野	22	近年の茶価に伴い荒廃しつつある茶園や茶工場の継続等今のうちに話を進めることが要である。	R4.3.31
春野	22	プラン作りを進める指導が必要である。	R4.3.31
春野	22	同じ事を思っていた、何から始めていいのか分からない	R2.12.21
春野	22	茶の作以外の作物が欲しい	R2.12.21
春野	22	農地を集約する面積がない	R2.12.21
春野	22	農地が面積(全体)に比べてわずか	R2.12.21
春野	22	何から始めていいのか分からない	R2.12.21
春野	22	農地の基盤整備をしていく必要がある	R2.12.21
春野	22	農家の今の思いを聞くべきだ	R2.12.21
春野	22	経営課題について「ある」と考えている人が多い	R2.12.21
春野	22	茶農家が多い	R2.12.21
春野	22	工芸作物(5人いる)	R2.12.21
春野	22	気田村、熊切村、犬居村が合併して春野ができたということが、地図の耕作具合を見てわかる	R2.12.21
春野	22	作物拡大したい意志があるのに驚き	R2.12.21

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
春野	22	茶以外の作物(ヒット商品作物)が欲しい(茶に偏りすぎている)	R2.12.21
春野	22	田が少ない	R2.12.21
春野	22	乾田が広い	R2.12.21
春野	22	茶以外の作物がほしい	R2.12.21
春野	22	農地が点在している(まとまっていない)	R2.12.21
春野	22	茶に特化している(営農類型)	R2.12.21
春野	22	耕作地の集約が必要	R2.12.21
春野	22	やはり茶の産地	R2.12.21
春野	22	茶以外を求めている人もいる	R2.12.21
春野	22	誰かをモデルにしてやってみて、結果を見るのも1つのやり方か?	R2.12.21
春野	22	山林が多い	R2.12.21
春野	22	茶の売上げが減	R2.12.21
春野	22	今の作物で集約か?別の物か	R2.12.21
春野	22	お茶がほとんどだと思っていたが、水田を耕作している担い手がいるとは思わなかった	R2.12.21
春野	22	高い位置の茶畑に行くのに道が狭く、皆さん大変だと思う	R2.12.21
春野	22	範囲が広い	R2.12.21
春野	22	集積は理想だが、難しいと思った	R2.12.21
春野	22	何から始めていいか分からない	R2.12.21
春野	22	お茶に頼りすぎ	R2.12.21
春野	22	特区をつくる	R2.12.21
春野	22	米の販売がない	R2.12.21
春野	22	耕作隊のメンバーが作っている野菜を買うようにしている	R2.12.21
春野	22	畑が多い、水田が思っていたより少ない	R2.12.21
春野	22	畑の面積が担い手の人数に比べて多く感じた	R2.12.21
春野	22	春野は80%植林、農地10何%、集約化も山の中では無理	R2.12.21
春野	22	茶畑も減っている、農地の維持か山林にするか	R2.12.21
春野	22	お茶に頼っている、もし、お米を売っていれば買いたい	R2.12.21
春野	22	地域の野菜の消費をしたい	R2.12.21
春野	22	道が狭いと感じる	R2.12.21
春野	22	集約は広い道も必要	R2.12.21
春野	22	急傾斜であまりいい条件ではないが、みんな頑張っている	R2.12.21
春野	22	地区も広く集約は難しいが、うまくいけばいいと思う	R2.12.21
春野	22	お茶が大変な中、後継者の問題もあり、どう管理していくか	R2.12.21
春野	22	傾斜が緩やかな所で家庭菜園をやりたいという他の地域に住む人もおり、いい所と再認識	R2.12.21
春野	22	少子高齢化の人減少、あと10年経ったら農地が空いてくる	R2.12.21
春野	22	集約よりも開拓を望む場合もあるが、高齢であきらめざるをえない状況	R2.12.21
春野	22	農業地帯と中山間地域では、同じ人・農地プランでも内容が違う、農業・林業と別ではなく	R2.12.21
春野	22	一体で考える施策も必要ではないか	R2.12.21
春野	22	春野特区を設けて売れるようにする	R2.12.21
春野	22	農地整備にかかる費用の利子補給の制度 などの国の考えも欲しい	R2.12.21
春野	22	極端だが人口減少が課題	R2.12.21
春野	22	春野も人を呼び込めるような話し合いをできれば	R2.12.21
春野	22	所有地のうち一部は急傾斜地で鳥獣害もあり現在不耕作地となっている。	R3.1.8
春野	22	道路付けの平坦な農地もあるが遠隔地のため借受けする人がない。後継者もいない。自分が働ける内は現状維持で農業経営していく。	R3.1.8

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
春野	22	鳥獣害、お茶の食害が多発していて困っている。絶対数が多すぎるので駆除をお願いしたい。	R3.1.8
春野	22	山間地の畑は傾斜地が多く、機械化が難しく耕作放棄地が増えている。	R3.1.29
春野	22	傾斜地でもできる高収益作物がないか検討中	R3.1.29